

「あけましておめでとうございます」と挨拶をしてから、あっという間に1ヶ月が経ちます。年末から、スタッフの皆さんは、将来に向けて、個々の課題解決に向けて取り組んでいます。良い成果が出ることを願っています。

小寒から大寒へ、そして節分へと季節の変わり目です。新型コロナウイルスのオミクロン株感染拡大も、ひしひしと近づいてきている感じがします。対策は、ワクチン接種もありますが、基本的には三密（密集、密接、密閉）を避け、マスクの着用、手洗い、うがい、洗顔に心がけることが大切です。

校地の外周掃除

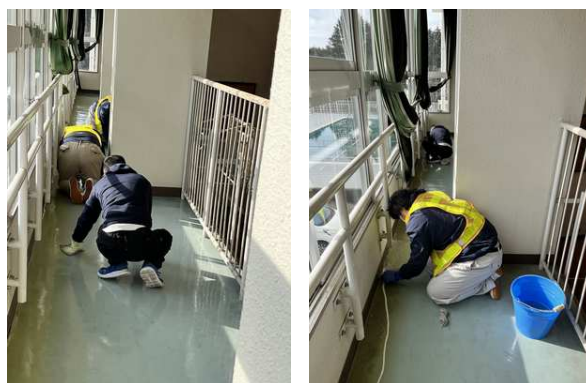
校地の外周は、思ったよりも長く、なかなか掃除などの手が入らない場所です。側溝は落ち葉でつまり、擁壁には草がはびこっています。そんなところを時間をかけて作業に取り組み、何回かに分けてきれいにしていきます。

場所によっては、ツルが木のように伸びたり巻き付いたりしています。自生の木が生えている場所もあります。太くなる前に整理して、風通しや日当たりを良くしていきます。



室内での清掃活動

外での活動が雪や風で困難なときには、室内での作業を実施しました。しかし、コロナの関係で、児童生徒と動線が重なる場所を避けています。写真は、体育館のバルコニー部分の清掃です。動線が重なることはなく、日常的に掃除の対象にはなりにくいところです。その分、汚れはひどいので洗剤を使い、水を使って雑巾で拭き取って、ふき取って、ふき取っての作業となります。窓から差し込む陽が、多少体を温めてくれます。



木の伐採も

手が入っていない場所には、自生の木が多く生えてしまっているところがあります。写真の場所は、フェンスの鍵がなく中に入ることができなかった場所です。今回、中に入っただけの作業を行いました。できるだけ伐採をおこないましたが、1日では終わりそうにもありません。効率よい道具が欲しくなりますが、すぐには準備できません。やれる範囲で作業に取り組んでいきましょう。

